

安倍がベトナムを訪問、資金と武器を贈る。中国は挑発と離間を批判

環球時報 20170117 0830

阿部信行

(訳者コメント)

安倍首相のアジア 4 国訪問に対する環球時報の論評記事を紹介します。
南シナ海問題で、中国は時間稼ぎしつつ東南アジア関係国を個別に懐柔しようとしていますが、それに真っ向から待ったをかけているのが安倍首相の東南アジア訪問です。
中国外交部は、中国の戦略に正攻法で対抗する安倍首相のアジア訪問に敵意をあらわにしています。

当地时间 1 月 16 日、ベトナムハノイ、日本首相安倍晋三は夫人を伴ってベトナムに到着した。ベトナム総理阮晋勇との会談中、安倍は、ベトナムに対し、この地区で”日増しに活動を活発化”させている中国に対抗するため、共に協力することを呼びかけた。

「環球時報 駐ベトナム記者 雒亦、盧昊、記者 白雲怡」

日本首相安倍晋三は、16 日、ベトナムへの公式訪問を開始した。これは彼の“アジア四ヶ国訪問”の締めくくりである。安倍は、当日ベトナム側に 1200 億円（人民元で 72 億元に相当）の開発援助資金（ODA）と合わせてベトナムの“海上安全保障”の強化を支援することを承認した。

安倍はベトナム訪問中、何度も南シナ海に言及した。16 日午後、ベトナム国会議長阮氏金銀と会見した際に、安倍首相は、“南シナ海問題は、両国だけの問題ではない、関連する国家の共通の問題である。日本は、国際法を尊重したうえで、ベトナムを支持する”と述べた。ベトナムの官方が公表したニュースによると、安倍はベトナム総理阮春福と会見した際も南シナ海に言及した。両国首脳は、南シナ海の現状を改変しないこと、武力を使用しないこと、国際法を尊重すること、特に国連海洋法条約を尊重すること、平和的手段で南シナ海の争いを解決すること、を強調した。安倍は、当日行われた記者会見で、ベトナムに 6 艘の新しい巡視船と武装を提供すると述べた。

日本のフジテレビは、海洋安全保障と海洋の“法治の原則”は、安倍の今回の訪問の重点議題であり、この議題の理由は、“海洋問題で日増しに強硬になる中国である”と述べた。

この前のフィリピン、オーストラリア、インドネシアの指導者との会談においても、安倍は、逐一彼らと南シナ海問題での協力を確認し、“法治の原則”と航行の自由の確保の重要性を強調した。フィリピンが今年 ASEAN 議長国であり、ベトナムが今年 APEC 会議の開催国であることを考慮し、安倍は積極的にこれらの国家と連携し、“国際世論の関心を南シナ海に向けさせようとしている”。

日本の時事通信社は、安倍の新年の最初の外国訪問は日本の外交枠組みにとって極めて重要である。安倍は、“アジアのパートナー国”として協力を得るため、国家の一つ一つに足を踏み入れている。これらの国家は、日本の外交空間を支える重要な意味を持っていると述べた。日本の TBS テレビは報道で、安倍の今回の訪問の一大目的は、各国首脳に、米国を核心とする同盟体系が“アジア地区の平和と安定を維持するために必要である”ことを明確に認識させるにある、と述べた。日越首脳会談で双方は米国のアジア戦略と南シナ海問題に言及した。フィリピン、オーストラリア、及びインドネシアでも安倍は同様に米国の仲介役を務めた。

16 日に行われた中国外交部の定例記者会見で、外交部スポークスマンの華春瑩は、環球時報の記者の質問に答えて、“安倍のアジア訪問は、至る所で南シナ海問題に言及した。まさに皆が見ているように、中国と関連 ASEAN 国家の共同努力の下、南シナ海情勢は安定に向かっている。すでに何度も交渉を重ね解決に向かっている”と述べた。しかし日本の指導者は、全力で以前の計画に従って、挑発と離間を図り、緊張を高めている、と述べた。

以上